



DEBTORS ANONYMOUS

デターズ・アノニマス 強迫的買物・浪費・借金依存症の集まり

DA 福岡グループ

こんな問題はありませんか？

- ・借金の肩代わりをしてもらってもまた借金をしてしまう…
- ・買ったものを家族に隠したり、買った物の値段をごまかしたりする…
- ・クレジットカードの限度額が預金残高のように思ってしまう…
- ・一度ほしいと思うと買うまでは落ち着かず眠れない…
- ・毎月の家計のやりくりが自転車操業…



DA 福岡グループは、ミーティングへの参加と12ステップの
実践によって、強迫的買い物・浪費・借金依存症で苦しむ人達と
一緒に回復を目指すグループです。

DA 福岡グループのミーティングは、オープン・ミーティングです。
買い物・浪費・借金依存症のご本人はもちろん、そのご家族、関係者、
のご参加もお待ちしています。⇒ debtorsfukuoka@gmail.com

5月31日 (火) ミーティングスタート

毎週火曜日 19:00～20:30 (第3週は休み)

福岡市市民福祉プラザ (福岡市中央区荒戸 3-3-39)

強迫的借金依存症の兆候(サイン)

- 1.自分の経済状態をはっきり把握していない。銀行口座のバランス、月々の支出、ローンの利率、手数料・追徴金の額、または、契約上の責務を知らない。
- 2.ときどき、本とかペンとか小銭などを友人・知人から借りて、返さない。
- 3.儉約の習慣がほとんどない。税金、借入金返済、その他の日々起こるものではないが、予測可能な事柄に備えることをせず、支払わなければならないようになってあわてる。「今日を生き、明日のことを思い悩まない」という生活態度。
- 4.強迫的な買い物。目に付いたものを無視することができず、衝動的に買い物をし返品できるように正札をつけたままにする。買ったものを使用しない。
- 5.基本的な経済的・個人的な債務の返済を果たすことの困難さ、そしてまたそのような債務の返済を果たしたときの過度の達成感。
- 6.クレジットカードで買ったときと、現金で買ったときの感覚の違い。カードで買うと、クラブの会員になったような、受け入れられたような、大人になったような感覚を持つ。
- 7.常に金銭をめぐる混乱と事件の中にいる。別の支払いに充てるためにクレジットカードを使用し、小切手は不渡りになるし、いつも格闘しなければならない経済的危機に直面している。
- 8.ギリギリの生活をする傾向。給料から次の給料までの綱渡り生活、健康保険や車両保険を解約したり、きっと支払える金が入ると信じて小切手を切る。
- 9.金銭に関するなんでもない話をしているのに、異常に嫌がったり、止めようとする。
- 10.オーバーワークか反対に稼ぎが悪い。借金を返す金を稼ぐために残業をする。非効率的に時間を過ごす。本人の技術や教育のレベルから見て低い職についている。
- 11.自分を気遣ったり、自分を評価することへの嫌悪感。自らに課した貧困状態の中での生活。借金を返すために自分のベーシックなニーズを否定する。
- 12.万が一の時には、誰かが気遣ってくれるという感覚または希望。つねに助けを求められる誰かがいて、深刻な経済的なトラブルには巻き込まれないと思っている。